

# 夢咲かせよう 立志の丘で

平成26年9月19日  
No.19

## 新人戦の結果について

秋晴れに恵まれた3日間、1・2年生主役の新人戦が各会場で行われました。結果をお知らせします。

- ◎ **野球**  
1回戦 西仙北●1-12○美郷 (5回コールド負け)
  - ◎ **バスケットボール (男子)**  
・予選リーグ (2敗)  
西仙北●32-67○美郷  
西仙北●53-70○大曲
  - ◎ **ソフトテニス (女子) ベスト8**  
・団体戦予選リーグ 1位  
西仙北○2-1●南外  
西仙北○2-1●協和  
・決勝トーナメント  
1回戦 西仙北●1-2○太田  
・個人戦 田村美伊・齋藤巴瑠圭 組ベスト8 (県大会出場)
  - ◎ **バレーボール ベスト8**  
・予選リーグ (1勝1敗)  
西仙北○2 (25-21, 25-18) ○●角館  
西仙北●0 (19-25, 19-25) 2○仙北  
・決勝トーナメント1回戦  
西仙北●0 (11-25, 12-25) 2○大曲
  - ◎ **卓球 3位**  
・予選リーグ 3勝2敗 (ブロック3位)  
西仙北○3-2●大曲  
西仙北○3-1●美郷  
西仙北●1-3○大曲西  
西仙北○3-2●桜木内  
西仙北●0-3○神代  
・団体戦決勝リーグ 3位  
西仙北●2-3○豊成  
西仙北○3-1●太田  
西仙北○3-1●角館  
・個人戦 星宮朋貴 ベスト8 (県大会出場)  
田口輝13位 (県大会出場)
  - ◎ **バドミントン**  
・団体 男子 3位 (2敗)  
西仙北●0-3○大曲  
西仙北●0-3○美郷  
女子 準優勝 (2勝1敗)  
西仙北○2-1●平和  
西仙北○2-1●美郷  
西仙北●1-2○大曲  
・個人  
男子シングルス 3位 伊藤陽介  
男子ダブルス 4位 竹村明葵・渡部翔  
女子ダブルス 優勝 伊藤日和・正木夏帆  
4位 大上萌花・吉田亜由美
- ※バドミントンは全員県大会出場です。
- ◎ **剣道**  
・個人戦  
1回戦 佐藤汰一●0-1○仙北  
石神佑将○1-0●大曲  
2回戦 石神佑将●0-1○仙北
  - ◎ **大曲仙北ソフトテニス1年生大会(女子)**  
第3位 佐藤愛美・加藤みなみ組  
ベスト8 京極優香・佐々木輝蘭組

## 英語暗唱弁論大会 優秀賞

9月11日(木), 美郷町公民館で今年度の大曲仙

北英語暗唱弁論大会が開催されました。本校からは次の2名が出演し、それぞれ優秀賞を受賞しました。

- 暗唱の部 大塚美優さん (3年生)  
題名 (英語) Miss Evans on the Titanic  
(日本語) タイタニック号のエバンズ嬢
- 弁論の部 佐々木萌李さん (3年生)  
題名 (英語) Teodori :Inspiring the Next Generation  
(日本語) 手踊り~担い手として、次世代へ~

暗唱は、教科書にある文章を暗唱して話す部門で、弁論は文章を創作し、それを英語に直して発表する部門です。二人の英語と日本語について、紹介します。

### 題名 Miss Evans on the Titanic 大塚美優さん

On a beautiful afternoon in April, 1912, the Titanic started on its first journey, from England to America. It was scheduled to arrive in New York in seven days.

1912年、4月の美しい午後、タイタニック号はイギリスからアメリカに向けて最初の航海に出ました。それは、一週間でニューヨークに到着する計画でした。

The Titanic was one of the biggest ships ever built. About 2,200 people were on this ship. Everything in it was new and clean. Everyone was enjoying the journey.

タイタニック号は今まで建造された船では一番大きいものでした。およそ2200人がこの船にいました。その中の全てのものが、新しくきれいでした。誰もがこの旅を楽しんでいました。

On the fifth day it got colder and colder. There were some icebergs around the Titanic. Icebergs are dangerous to ships. Only a part of an iceberg shows above the water, and most of it is under the water.

5日目にとっても寒くなりました。タイタニック号の回りにはいくつかの氷山がありました。氷山は船にとって危険です。まさに氷山の一角だけが海水の上に表れていて、そのほとんどは海水の下にあります。

Late that night a man watching for icebergs saw a very big one near the ship. He shouted, "Iceberg ahead!" But it was too late. The ship hit the iceberg and began to sink slowly into the sea.

その夜遅く氷山を見ていた一人の男が船の近くにとっても大きな氷山を見ました。彼は叫びました。「前に氷山が！」でも、それは遅すぎました。船は、氷山に衝突し、海の中にゆっくりと沈み始めたのです。

All the people had to leave the ship quickly. The women and children were the first to get into the lifeboats. But one woman was left behind. She came up to the side of the ship and shouted, "Oh, please, please make room for me. My children are down there in that boat. I must go with them!"

あらゆる人々が船を素早く離れなければなりません。婦人や子どもたちが、いっしょに救助艇に寄せられました。でも、一人の婦人が置き去りにされました。彼女はへりに駆け上がり叫びました。「お願い！お願い！私に場所を空けてください。私の子どもたちがそのボートに降りているのよ。私も子どもたちと一緒にいかないで。」

"There's no more room here," someone in the boat

shouted back. Her little son and daughter heard her and began to cry, "Mother! Mother!" No one knew what to do.

「ここにはもう空いている場所はない。」とボートにいる誰かが後ろに叫びました。彼女の小さな息子と娘は彼女の声を聞いて泣き始めました。「お母さん！お母さん！」誰も何をすればよいのか分かりませんでした。

Suddenly a young woman sitting near the poor children stood up and said, "I'll go back to the ship. I'm not married. I don't have any children."

突然、かわいそうな子どもたちの近くに座っている若い女性が立ち上がって言いました。「私が船に戻るわ。私はまだ結婚していないの。私はまだ子どももないし。」

There was no time to lose. The young woman went back to the ship, and the children's mother got into the lifeboat. Soon after that, the Titanic went down under the water.

無駄にする時間はありませんでした。若い女性は船に戻りました。そして子どもたちの母親が救助艇に乗りました。それからまもなく、タイタニック号は海水の下に沈みました。

The young woman's name was Miss Evans. She was going home to Boston. No more is known about her. That night about 1,500 people lost their lives. Miss Evans was one of them.

その若い女性の名前はエバンスさんでした。彼女はボストンに帰る途中でした。彼女については、それ以上のことは知られていません。その夜、およそ1500人の人々が命を失いました。エバンス嬢もその中の一人でした。

### 題名 Teodori :Inspiring the Next Generation 佐々木萌季さん（弁論）

Do I look like a dancer? Maybe not. But I am crazy about dancing. A lot of young people are interested in modern forms of dance-hip-hop, for example, or jazz. But my favorite is the teodori, a traditional local dance.

私、ダンサーのように見えますか？たぶんそう見えなくても。でも私は踊ることに夢中なんです。たくさん若い人々が、ヒップホップの踊りの現代的な踊り、たとえば、ジャズダンスなどに興味をもっています。でも、私の好きなのは「手踊り」という伝統的な地方の踊りです。

Teodori is performed at the Kakunodate Festival, which is held every year for three days in September. As part of the festival, people pull wooden carts through the streets. The carts compete for space on the road, and they often crash into each other. Young girls wearing vivid purple kimono dance the teodori on the carts. The violence of the colliding carts is matched by the silent gracefulness of the dancers.

「手踊り」は角館のお祭りで行われています。その祭りは、毎年9月に3日間開催されています。お祭りでは、人々が曳山(木でできたカート)を通り引張っていきます。曳山は、路上で場所争いをします。そして時々、お互いにぶつかり合います。鮮やかな紫の着物を着た若い女性たちが曳山の上で「手踊り」を踊ります。激突する曳山の激しさが動とすれば、踊り子たちの優雅さは静として感じられます。

Ten years ago, I saw the dance for the first time, and it made a deep impression on me. I remember saying to my mother, "I want to dance like those girls." At the same time, I was very shy, and afraid of dancing in front of an audience. But after seeing the festival at Kakunodate, I really wanted to dance. And so, when I was five years old, I started taking lessons.

10年前、私ははじめて踊りを見ました。そして、

とても深く印象に残りました。私は母に「私はあの子たちみたいに踊ってみたい。」と言ったのを覚えています。と同時に、私はとても恥ずかしがり屋で、聴衆の前で踊るのが怖かったです。でも角館のお祭りを見てからというもの、私は本当に踊りたくなりました。そして私が5歳になったとき、私は稽古を始めました。

At first, my teacher was very kind, and the lessons were fun for me. But as I grew older, the lessons became more and more difficult. My teacher also became stricter and stricter. I was having a hard time, and I thought of giving up. But my family said to me, "Remember, you wanted to learn the teodori. Keep trying, and do your best." Thanks to their support and encouragement, I continued to dance. Gradually, my skills improved. As a result, I grew in self-confidence-not only as a dancer, but also in other areas of my life.

最初、私の先生はとても優しくかったです。そして稽古もおもしろかったです。でも私が大きくなると、稽古はとてとても難しくなりました。私の先生もまた、とてとても厳しくなりました。私は、つらいときを過ごしました。そしてあきらめようとも思いませんでした。でも私の家族が「思い出して、あなたが『手踊り』を習いたいと言ったのよ。続けなさい、そして全力で向かいなさい。」と言いました。次第に、私の技能は改良されました。結果として、私は、踊り子としてだけでなく、私の人生の他の場面でも自信をもつことができるように成長しました。

In my first two years of junior high school, I took part in homestay programs abroad-first in Korea, then in Australia. On both trips, I had the opportunity to perform the teodori. Sharing the dance with people in other countries, I felt like I was able to express the Japanese spirit to them. In the process, my eyes were opened to the richness of my own culture. I began to wonder about the history and the meaning of the dance.

中学校での私の最初の2年間で、最初に韓国、そしてオーストラリアのホームステイ渡航留学に参加しました。どちらの旅行でも、私は「手踊り」をする機会がありました。他の国の人々に踊りを見せながら、彼らに日本の精神を示すことができたように、私は感じました。その過程で、私の目は自分の文化の豊かさというものに、見開かれました。私は、踊りの歴史と意味について思い巡らしました。

Traditions, I realized, are important. They are also fragile and easily lost. Here in northern Japan, most young people aren't interested in the traditional performing arts. As a result, many of those traditions are in danger of dying out. Unfortunately, the teodori is no exception. The number of performers is decreasing year after year.

伝統、私は分かりました、それは重要であると。さらに、それらはもろくて、容易に失われます。ここ、北日本でも、若者の多くは伝統芸能に興味を持ちません。その結果、それらの伝統の多くはすたれる危険な状態にあります。不運にも、「手踊り」は例外ではありません。手踊りをする人々の数は年々減少しています。

Learning to dance the teodori has made me a stronger person. It has also given me a deeper connection with my own culture. I want to learn more about the teodori so that I can perform it even more passionately. I hope to inspire the next generation to keep this important tradition alive.

私は「手踊り」について、もっと学びたいと思っています。そうすることで、更に、もっと心を入れて手踊りをする事ができるはず。私は次世代の人々の心に火を付け、この大切な伝統を生き生きとさせ続けたいのです。

※ 直訳しましたので読みにくい箇所はお許しください。  
立志祭(学校祭:10月5日)で二人の発表がありました。今から楽しみです。